

疾病予防と治療月間 リソースのご案内 (Disease Prevention and Treatment Month)

各資料名をクリックすると、電子版をご覧いただけます。
印刷冊子をご入用の際は、出版物注文用紙よりご注文をお願い申し上げます。

< 出版物 >

➤ **ロータリーの重点分野** (資料番号：169) [印刷冊子：一冊 2.00 ドル]

ロータリー「6つの重点分野」の活動を総合的に紹介した冊子。各分野における世界的な課題、対するロータリーの取り組みをプロジェクト例や関わった方がたの声とともに紹介した、力強いビジュアルメインの冊子です。「疫病との闘い」分野における紹介は、12-15 ページをご参照ください。(2018年1月版)

➤ **ロータリーの重点分野ガイド** (資料番号：965) [電子版のみ]

ロータリー「6つの重点分野」をプロジェクト例とともに簡潔に解説したパンフレット。「疾病予防と治療」分野における紹介は、5-6 ページをご参照ください。(2015年5月版)

➤ **健康の重点分野ピン** (商品番号：971) [100個1組：\$80.00]

銀色と青色を使ったマグネット式襟ピン。健康の大口寄付推進計画を支え、母子の健康と疾病予防と治療の重点分野に対する認識を高めることを目的としています。

➤ **2017-18 年度年次報告** (資料番号：187) [電子版のみ]

2017-18 年度における主要な出来事と功績を紹介したカラーの報告書。財務情報やパートナーの紹介に加え、ロータリアンが世界に変化をもたらし、アイデアを広げ、生涯の友情を築く姿を紹介します。(2018年11月版 ※更新版は例年12月半ば～1月頃にご入手可能となります。)

💡 **End Polio Now 関連について詳しくは** >> [こちら](#)

< RI ページ >

➤ **疫病との闘い**

「質の高い医療を受ける権利はすべての人にある」。人びとを苦しめる病気の蔓延を食い止め、予防の徹底に力を尽くす医療分野での RI 活動紹介ページです。

< ウェブ掲載記事 >

▶ すべての山に登る

ウガンダのローターアクトー：ペイシェンスさんは、アクセスの悪い圧倒的貧困地域：ウガンダとケニアの国境にある山間の集落にてポリオの予防接種活動に参加しました。この体験から彼女は、「誰かを病気から守り、幸せになるチャンス与えた」、とても意味のある経験を得たと話します。

(2018年10月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

▶ 笑顔の理由

ロータープラスト (Rotaplast) は、口唇口蓋裂や他の先天性欠損症がある子どもの医療支援を実施するチリのロータリアン主導プログラムです。国境を越えた医療チームは、地元で治療を受けることが困難な人びとを対象に難しい手術に取り組み、彼らの「スマイル」を取り戻しています。

(2018年8月、Rotary ニュース・特集記事ページより)

▶ 個人的な経験から医療の道を選ぶ

米国のローターアクトー、アレクサンドリア・リッチーさんはご自身と同じ経験をする家族の悲しみを和らげてあげたい、という強い思いがありました。ある日工学部にやってきた、医学部の臨床医たちが硬膜外麻酔の失敗の問題について話し、これを解決するために、彼女とほかの6人の工学部生が問題に取り組み、医療用装置を開発しました。ロータリーの活動を通じて、製品の開発に必要な対人スキルを身につけたと話しています。

(2019年6月、ロータリーボイスより)

▶ ポリオとの闘いがほかの疾病にも大きな影響をもたらす5つの理由

ポリオは特に幼い子どもに起こりうる生涯にわたる麻痺で、1955年にジョナス・ソーク博士がポリオワクチンを導入したときに予防可能になりました。ロータリーと [GPEI](#) のパートナー団体は、ポリオとの闘いで築かれたインフラのおかげで、ポリオのない世界へと近づくことができます。

(2019年2月、ロータリーボイス)

▶ 安全な出産でホンジュラスの母子を守る

相模原橋本ロータリークラブが現地のダンリロータリークラブ、岡山県に本部を置く非営利法人AMDA 社会開発機構 (AMDA-MINDS) と協力して、ロータリー財団のグローバル補助金 110,000 ドル (約 1,200 万円) を活用した、新生児と妊産婦死亡率の改善を目的とする「El Paraiso Safe Childbirth Project (エル・パライスでの安全な出産プロジェクト)」を実施しました。

(2019年2月、ロータリーボイスより)

■ Rotary ニュース・特集記事ページは» [こちら](#)

■ Rotary Voice ページ (日本語) は» [こちら](#)

< 映像資料 >

 ▶ ガーナでよいことをしよう

ブルーリ潰瘍は主に手足に奇形をもたらす水を介した感染症です。ガーナでは、きれいな飲み水にアクセスできない人びとがこの感染症の危険にさらされていました。現地のロータリアンは、財団の力を借りて現地の人びとでの運営を目標とする井戸建設に乗り出します。

(2014年) [日本語、4分14秒]

 ▶ ウクライナでよいことをしよう

ウクライナ・キエフでは1990年代に入っても最新の医療器材不足のため、多くの子どもが心臓疾患で命を落としていました。ロータリーの提供した機材は、心臓疾患で亡くなっていたであろう約1,400人の子どもを救いました。

(2012年) [日本語、3分15秒]

 ▶ La Halte Répit: ALZHEIMER'S

フランス、ポール・ラ・ヌベールのロータリアンは会員家族のアルツハイマー発症をきっかけに、患者とその家族のためにデイケア施設を開設しました。週に一度患者を受け入れることで、介護につきまわりの家族に休息を与え、患者同士にはふれあいの場を提供しています。

(2012年) [日本語、6分43秒]

 ▶ 世界でよいことをしよう：疫病と闘う

ウガンダでは、HIV/エイズ人口が120万人以上、HIV/エイズ孤児も120万人以上に上ります。両親の死を乗り越え懸命に生きる孤児の子どもたちが多くいます。現地のロータリアンは、物理的理由で病院に通えない子どもの家に足を運び、医療を提供しています。

(2011年) [日本語、2分41秒]

 ▶ The Last Hurdle: Polio in India

「ポリオのないインド」。2005年、インドはポリオ解放寸前でしたが、衛生環境が悪い地域を中心に事態は悪化します。通常の予防接種に加えて免疫力を補強するため、ロータリーはパートナー団体と協力し、そして国を挙げて予防接種に取り組みました。2014年、インドは「ポリオフリー」と認定されています。

(2011年) [日本語字幕、7分31秒]

～ ポリオ根絶関連動画 ～

 ▶ ロータリーとポリオの動画

ポリオ根絶におけるロータリーの取り組みについて学ぶ動画が公開されました。10分間バージョンと15分間バージョンがあり、ダウンロードすることもできます。イベントや講演等でぜひご活用ください。

 ● **WHOよりポリオ「ワクチン」についての映像**

 ▶ 2種類のポリオワクチン

(2018年) [日本語字幕、2分00秒]

 ▶ ワクチン由来のポリオウイルス

(2018年) [日本語字幕、1分59秒]

 ■ **Vimeo RI ページ (日本語) は** [こちら](#)